



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：柏手 茂 副会長：白石 慎太郎 幹事：米山 俊二 クラブ会報委員長：平井 敬規

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2021年12月16日 第 3341 回 週報第 3341 号

本日12月16日	会員数 61名	対象者 61名	出席者 43(43)名	出席率 70.49%			
前々回12月 2日	会員数 61名	対象者 61名	出席者 47(47)名	出席率 77.05%	MUP 2名	計 49名	修正率 80.33%

上期情報集會報告会

テーマ

ロータリークラブの魅力を増すには？
～強みを大きく、弱みを小さくするには？～

赤グループ 宮下幸雄 幹事

出席メンバー：升水会員、鳥海会員、片野会員、白石会員、今村会員、瀬尾会員、柳川(信)会員、平井会員、中谷会員、宮下グループ幹事

(1) 魅力は何か (さらに強化するにはどうするか?)

- ・例会 (出席時の交流が良いので、出席率をあげる必要がある。例会出席は義務であり、積極的に参加すべきだ。卓話。楽しい例会にする必要がある)
- ・魅力は人。それも多様な人が集まっていること。(なので会員増強が必要)
- ・例会以外での交流 (まさに今回の情報集會もそれにあたる。飲食やお酒を入れて、とことん議論をしていくことが良い。感染症が落ち着けば、今後進んでいくだろう)
- ・他のクラブとの接点 (メイクアップ)



(2) 弱みは何か (弱みを小さくするにはどうするか?)

- ・年代格差 (多様性とも言えるので、弱みとも限らないのではないとも言える)
- ・メール以外の連絡手段 (今後の検討が必要)
- ・2020 年度長期計画委員会作成によるクラブビジョン策定時の SWOT 分析の活用

(3) 升水さんのご提言 (2020 年度長期計画委員会の委員長)

国際ロータリーの方針に準じて、長期計画委員会のなかで取り組まれた。SWOT 分析をしてそれをクロスしてビジョンが生まれている。なのでその基本である SWOT 分析の長所をどう伸ばすか、短所をどう縮めるか、を考えていく必要がある。

(宮下目線で考えると)

企業会員 (転勤者) が刺激を与える必要がある、ということ認識する必要がある。またひとりひとりに責任がある、ということを理解する必要がある。誰かがやるではダメ、与えられるだけでなく、影響を与えられなければならないと思う。

橙グループ 菅沼久志 幹事

出席メンバー：福澤会員/木村会員/江藤会員/高橋(建) 会員/相山会員/菅沼グループ幹事

(福澤会員)

*例会で講師の話聞くだけでなく、会員相互の交流や懇親を深めるのがロータリーの意義である。早く元のように行事や企画を復活させて、交流を深められるようになればいい。
*Xmas 例会などの家族例会も復活してもらいたい。



*同世代の仲間が居なくなってしまうと年代の格差が出来て、ロータリーに行っても居場所がなくつまらなく感じてしまう。同世代の仲間が続けていけるようにしたい。

(木村会員)

*なぜロータリーに入ったのか? 目的が達成できているか? ロータリーの魅力は同業ではない色々な人と夢を語り合える出会いではないか。
*最近、JC や YEG に似てきた感があるので、もっとメンバー同士が繋がれることに主眼を置いた方が良いのでは。
*リアルとオンラインでは違うので、(リアルで会える)その良さを出して、人間関係を大切にすべき。

(江藤会員)

*AG 幹事として第 8 グループの他のクラブの皆さんと交流するが、平塚 RC のポテンシャルは際立っていると感じていて、魅力的な人が多い。
*以前は例会も円卓で交流できたが、今はそれが出来ないのが残念。
*親クラブが横浜 RC なのも平塚の魅力で利点なので、メイクアップを上手く活用する。

(高橋会員)

*先日のバスツアーに参加し新会員に女性が多く驚いた。平塚も女性会員が入りたくなる魅力を作っていければ、もっと活性化するのではないかと。

(菅沼会員)

*初のロータリーだが、新参者でも温かく迎え入れて貰え、仲間として一緒に話しが出来るのはとても有難く思う。一緒に地域を盛り立てて行きたい。

(相山会員)

*先日、米山と新会員向けの地区のバスツアーに参加したが、色々な方々との繋がりが広がっていくのがロータリーの魅力だと改めて感じた。今後も積極的に参加したい。
*毎週の例会前に会員同士が交流できる時間や場があると良い。

黄グループ 志村拓幹事

出席メンバー：浅野会員／清水孝一会員／青山会員／柏手会員／杉山会員／鳥山会員／米山範明会員／志村 G 幹事

(黄色チームは8名という多くの皆様にご参加いただき、若干懇親が多めでしたが…濃密な議論をすることが出来ました。

**平塚クラブの魅力とは？**

1. 多様性受容⇒女性会員
(平塚クラブは伝統あるクラブではあるが早い段階から

女性会員が入会していた(2001年12月入会:桐本さん)、会員の年齢が若くバランスが良い(平均年齢56歳)、企業会員も多い

2. まずはできること、やれることを「やってみる！」
マインド⇒例えば、コロナ禍のYouTube配信例会、zoom例会、職場訪問、ポリオのバス広告等、他クラブには出来ない魅力である

3. 会員間の深い交流⇒例会をしっかりと定例で開催、RCの規程が変更になり、クラブによっては例会が月に2回でも良いという事で変更したクラブもあるが、平塚クラブでは、基本4回と変更を行わなかった。これは、例会で会員が対面できる機会を少なくすることのマイナスが大きく、新会員が早くクラブになじむためにも必要であるとの理由で決定されましたが、平塚クラブらしい魅力である

以上のように、「恐れずに変わっていくこと、そして大切なものを変えないという姿勢を持っていること」は平塚クラブの魅力である。

その上で、もっとその魅力を増すためには

1. 魅力を増すためには多様化が必要である＝職業の多様化、性別の多様化、女性会員が入会しやすいクラブとなる

2. コロナ禍だったので仕方がないが、交流会のような情報交換や懇親会の場を設ける必要がある

3. 夜例会や月2回の例会等を考えても、やはり月4回の例会、ルーティン化することが必要である⇒体やスケジュールが必然的に動くようになる

4. ロータリーは異業種、年齢の広さが魅力である。平塚クラブは、先輩方が優しく、気さくであり親しみやすい、年齢関係なく接してくれる会員の年齢が若いため、バランスが良い。やはり、メイクアップに参加すると自クラブが良いと思えるクラブである

5. 出来ることをやる！チャレンジする事、失敗したら次へつなげる

6. コロナ禍で入会した会員のフォローが必要

7. クラブビジョンがある⇒魅力の一つこのビジョンから個々人が魅力を見つける

主な意見は以上となりますが、最後に平塚ロータリークラブビジョン声明である「私たち平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と、先進的なクラブを目指します」このビジョンを持っているクラブであることが最大の魅

力なのではないかと再度認識を致しました。

緑グループ 守屋宣成幹事

出席メンバー：高橋会員／清水会員／下平会員／永瀬会員／前田会員／秋山会員／鈴木会員／守屋グループ幹事

○意見交換

・参加できない期間があっても皆さんが快く受け入れてくれることが大事

・例会内容の充実していくことが必要

・例会参加への促しをもっと行うことが大事

・ロータリーへの参画するためには新会員への熟練の会員が配慮していくことが大事

・プログラム委員会に例会講師に関して任せてしまっているが、皆さんから講師について意見をもらっても良いのではないかと？

・2ヶ月は情報集会のグループで固定したテーブルにしてコミュニケーションの充実や会員同士の密な関係性を作る

・情報集会を年に4回としてはどうか？このコミュニケーションはとても大事

・例会を今後もハイブリットにして参加者を増やしてはどうか？

・入会浅い会員にも役割や役職を広くやってもらうことで責任と充実感が必要

**○まとめ**

ロータリーは例会がとても大事であるからこそ、例会内容や講師選定がとても重要であると思います。また例会の1時間という短い時間の中で、如何に会員間のコミュニケーションを深めるのか？特に年齢層が広いということもあるので、例会と情報集会を活かして、ロータリーの強みを活かした組織作りこそが、魅力を高めることにつながるという結論に至りました。

青グループ 原田篤志幹事

メンバー：葛西敬会員／清水裕会員／鈴木忠治会員／常盤卓嗣会員／成瀬正夫会員／元吉裕会員／渡邊美和会員／市川雅範会員／原田篤志グループ幹事

【魅力あるクラブとは？】

・クラブビジョン作成時のSWOT分析を使用・共有

・高い知名度を活用して魅力発信する。

・RCの魅力は、異業種交流の魅力(神奈中の社長とは普通では会えない)、その交流が商売にも生きる。感じ方は人それぞれ違うが、一生懸命やること。

・今時点でも魅力あり。その中で、更なるコミュニケーション・親睦を増やす。コロナ禍で弊害となっている。例会以外にも交流の場を増やす。

**【会員拡大】**

・企業出向、YEG、JC出身者以外(会員の2割程度か)の会員を増やすことが重要。そうでないと魅力発信でき

ない。今まで交流がない人脈を作ることが大切。

・企業出向、Y E G・J C 卒業者による入会も必要であるが、昔は飛び込みで会員拡大をしていた。それも歓迎された。

・その反面、基盤拡大では企業出向も重要。企業出向への声掛けが弱かった。そこも強化するべき。(日産車体、横浜ゴムなど)

・車体、J A 湘南など地元のそうそうたる企業をメンバーに加え、平塚 R C のステータスを高めて、みんなが入りたくなる R C にして、その魅力を発信していこう。

・女性会員も増やしたい。女性はしがらみがあるというが、平塚では現状はない。

・敷居が高くなければ、創業者を入会させたら、新しい交流が生まれる。

・永瀬先生と医者との拡大を狙ったが、なかなか難しかった。

【平塚 R C】

・平塚 R C は年齢層の幅が大きい。それを生かすべきだが、その分若年層の参画意識が薄い。特定の仲間での交流が限定的。

・平塚は他の R C に比べしっかりしたクラブ。それを延ばす。

・例会の中で交流を増やせる仕組み・仕掛けをつくる。仲間以外の孤立が少なからずある。その克服。長く続けることが重要。

・昔は異業種の幅が広がった。ステータス・格調も高かった。医者が少なくなっている。その中で交流ができることが良かった。その時も楽しかったが、今はいまで非常に楽しい。

・歯医者も少なくなっている。

・亡くなられた小笠原先生はロータリーに来ることが、楽しくてしょうがなかった。

・息抜きにロータリーに参加する(例会に参加する)

・コロナ前の皆さんの顔を見るのが楽しい。懇親会を含め面談する機会をどんどん増やす。人脈を増やすことで、ばったり町で会ったときでも挨拶できてうれしい。

・この情報集会自体が楽しい。やはり交流を増やす。

【総括】

・書記個人的な意見では、コロナ禍で正規な例会の参加はないが、やっぱり R C の魅力は例会=交流の場であり、そこが起点で参加すれば楽しい、また参加したくなるそうした会員を増やすことこそが個々の平塚 R C の魅力発信することにつながる。武器は例会、事業であり、それを支える各種交流会の機会をどんどん増やすことこそが R C の価値を高めることだと思います。

紫グループ 松本崇幹事

メンバー：森会員／関口会員／大島会員／米山(俊)会員
会員／嶋田会員／小林会員／日坂会員／吉野事務局、
松本グループ幹事

【平塚ロータリークラブの魅力を増す為には・・・】

○女性会員、若い会員の増強

○例会をズームなどのオンライン配信して出席できる機会を増やす

○対外的に平塚ロータリークラブの存在の P R

○会員が楽しめる活動を増やす

○会員同士が接する機会を増やす

○情報交換(情報集会)の場を増やす

○受け身の例会が多いので、参加型の例会を増やす

○長期計画の実施



○会員数の増強で予算増↑ J C, Y E G 出身のメンバーが多いので、その他の人を増やす

○卓話のリクエストを取って会員の興味がありそうな卓話を盛り込む

○日本にいる外国人の社長をメンバーに加える グローバル化増↑

○平塚医師会・税理士会・・・などの代表をメンバーに加える 情報交換増↑

○地域の活動を増やし知名度を上げ地域で知ってもらう

【クラブの長所について】

○年長者(ロータリー歴の長い人)と若い人(ロータリー歴の浅い人)の風通しが良い

○ステータスがある

【クラブの短所について】

○発信力不足、何をやっているか分かりづらい

○若い人を増やしたいが、若い人は昼間の例会に参加しづらい

全部で9名 相山さんのお店良くしていただき楽しいひと時、最初30分まじめロータリー以外の情報交換



報告が終わり、にこやかに記念撮影

委員会報告

○親睦委員会 瀬尾光俊委員長

来週 23 日はクリスマス夜間例会を行います。委員会のメンバーが現在準備をしております。当日はお酒を提供いたしますので、飲まれる方は車でなく、公共機関をご利用願います。

○親睦委員会 市川雅範委員

クリスマス当日のアトラクションとして、地元出身でプロとして活躍しています「シェリフ」という5人組のバンドに演奏をお願いしております。日頃は湘南サウンドを演奏されていますが、今回は皆さんがご存知の曲をクリスマスバージョンで演奏していただく予定です。お楽しみにしてください。

○プログラム委員会 渡邊美和副委員長

ニューイヤーコンサートのお知らせです。1月6日18時より予定をしております。今回は平塚出身のハードフュージョンバンド笹本兄妹のライブ演奏を楽しんでいただければと思います。出欠の回答は12月20日までをお願い致します。

平塚ロータリークラブビジョン声明

「私たち平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と、先進的なクラブを目指します」

そして戦略計画立案プロセスの第3段階として、計画の作成「どのようにビジョンを実現できるか」のための具体的（戦略的）優先事項の策定とそのための行動目標を策定しました。

具体的優先事項（抜粋）

1. 奉仕活動

①地域社会との関わり合いを積極的に高める

2. 親睦活動

①会員が充実したロータリー活動を享受するために、楽しい例会や活発な委員会活動を通じて、異業種交流や家庭間交流を活かし、会員のネットワークを拡げる。

3. 研修活動

①ロータリー理念やロータリー情報を全会員で共有する

4. 組織強化

①クラブを活性化するために、組織を効果的に運営し、機能を高めて行く

クラブ SWOT 分析による平塚 RC の行動目標

1. 平塚 RC として、地域への貢献を積極的に行い、地域における存在感を強調する
2. 会員層を活かし、異業種交流の機会をもってネットワークを拡げる
3. 年齢層を活かした人間的交流を深化させ、親睦活動を発展させる
4. 会員間でロータリー理念の理解を深め、情報を共有し、ロータリー活動の参加意識を高める（向上させる）
5. 継続と新たな奉仕活動（事業）のバランスを常に考え、会員の理解のもと全員参加の奉仕活動を行う
6. 会員構成についてバランスよく構成が出来るように、未充填業種をクラブ全体で共有した仕組みづくりを構築する

戦略計画立案プロセス第4段階として、進捗の確認・目標への進み具合はどうか、長期計画委員会として年次目標への進捗を確認し、必要に応じて行動計画を修正を加え 見直しと調整を行う。これらは次年度長期計画委員会で行っていただきたい。

幹事報告

◎11月に一度お知らせいたしましたが、2021-22年度地区大会親睦ゴルフコンペが来年2月28日(月)に開催されます。

現在数名の参加希望者がおります。参加希望の方は1月6日(木)までに事務局までご連絡をお願いいたします。事務局より取りまとめ申し込みをいたします。会員とご家族も参加できます。

◎本日の例会後にこの場所で65周年実行委員会を開催いたしますので、実行委員の会員はお忙しいところ恐縮ですが、ご出席をお願い致します。

R財団寄付者表彰

ロータリー財団より21-22年度11月に寄付をされた4名の会員にポールハリスフェロー認証の認証状とピンが送られて来ましたので、柏手会長より贈呈を行いました。

青山紀美代会員、小野学会員、馬上晋会員、豊川忠紀会員



今週のお祝い

誕生日祝い・・・無し 結婚祝い・・・無し

メイクアップ (MUP)

2名

相山洋明会員、山口紀之会員

本日のスマイル

19名+6グループ

ゲスト

0名

ビジター

0名

卓話・行事予定

12月23日(木) クリスマス夜間例会
12月30日(木) 休会
1月6日(木) ニューイヤーコンサート(夜間例会)

市内例会変更

現在ございません。

